

1. はじめに

当法人は平成 6 年 7 月 8 日に法人認可を受けて以来、一貫して「どんな障がいのある人も、いきいきと暮らしていける社会の実現を目指し、障がい者自身とその家族、職員、地域の人々が力を合わせて活動する。」を理念に掲げ、これまで運営を続けてきました。

これからも知的な障がいのある人に対し、障がいの程度、種別に応じた適切な支援方法によって、療育的な面も配慮しながら、作業訓練を行い、集団における協調性を養い、社会の中で自立していけるように援助を行っていきます。

2. 法人本部体制

社会福祉法人制度改革により、地域における公益的な取り組みが必要とされ、それを推進するために法人本部内で企画運営し、有機的に稼働出来るように努めます。又、理事会・評議員会の事務局として、予算の執行状況や役員の任免などの実務を制度改革に合わせて忠実にこなしていきます。

3. 職員労務管理体制

昨年度に引き続き、西部・北部の 2 事業部に事業部長を置き、多様な事業・勤務形態に対応した適材適所の人事体制を築きます。又、昨年度は岐阜県社会福祉法人経営労務管理改善支援事業費補助金を活用し、人を育てる人事評価制度の構築を行ってきました。今年度はそれを基にした就業規則や給与規程の改定を行い、利用者の支援に寄り添えるよい職場作りに努めます。

4. 新規事業

・パストラルいぶき 2 期事業

今まで懸案だったパストラルいぶき 2 期事業を実現することを最優先課題と位置付け、基本計画の見直しと体制作り・人材の確保・経営基盤の強化に努めます。それを実行するには、当座の財政出動もやむなしと考え、具体的な計画を練っていきます。

・サテライトいぶき移転

従来の下請け作業に加え、野菜・果物などの乾燥プラントの設備を配置し事業展開を行うために、岐阜市日光町の物件に移転し更なる活動を推進していきます。

・防犯対策の強化

昨年度の相模原障がい者施設殺傷事件を受けて、防犯対策の強化に関する整備を行います。具体的にはグループホーム建物（しまホーム・さぎやま第二ホーム、パストラルいぶき）に防犯カメラを設置し、安全対策を講じます。

5. 事業の概要

岐阜市初の民間法人による通所授産施設（定員 30 名）として、平成 7 年 4 月 1 日 岐阜市島新町に「いぶき」を開所しました。又、2ヶ所目の通所授産施設（定員 30 名）として平成 11 年 4 月 1 日 岐阜市出屋敷に「第二いぶき」を開所しました。岐阜市の委託事業として平成 12 年 10 月 1 日より「重症心身障がい児（者）通園事業 B 型（定員 5 名）」を併設しました。さらに平成 24 年に重心 B 型事業を生活介護事業「第二いぶき B」に移行しました。

一方、岐阜市の委託を受け、平成 9 年 4 月 1 日定員 12 名で「うずら共同作業所」を開所しました。一般就労に向けた取り組みを重視した施設として、現在まで 2 名の一般就労実績があります。障害者自立支援法の施行に伴い、運営の効率化のため、平成 20 年 4 月 1 日より、「いぶき」近接に移転し、「いぶきゆめひろ共同作業所」と名称を変更し、就労支援のため「招き猫マドレーヌ」と「かりんとう」の製造販売事業を柱に高賃金迫及の取り組みを進めてきました。

平成 25 年度より「いぶき」より約 150m 西に位置する「洋伸ビル 2.3F」を借用し「サテライトいぶき」を新設しました。従来の下請け作業に加え、野菜・果物などの乾燥プラントの設備を配置し、今年度も事業展開を行います。さらに「いぶき」の定員超過を解消すべく「いぶき」西 50m に位置する物件で平成 26 年 4 月「きざはし」として事業を開始しました。揖斐川町上ヶ流地区のお茶栽培事業と連携するほか、野菜などの農業分野の取り組みを進めていきます。

作業の効率化とかりんとうの増産化を図るべく、以前に中華料理店が入っていた甚八ビル 1F を借用し、移転改修を行い、生活介護と就労継続支援 A 型の多機能型事業所「ゆめくるん工房」として、平成 28 年 3 月に事業移行し、今年度も継続していきます。

障がい者の自立した地域生活に向けた有効な社会資源であるとの認識から、平成 12 年 4 月 1 日「しま・ホーム」を、平成 14 年 4 月 1 日「さぎやま・ホーム」を開設しました。さらに重度重複障がいを持つ利用者のニーズに対応すべく平成 16 年 11 月 1 日に「さぎやま第二ホーム」を、平成 23 年 4 月 1 日に「パストラルいぶき」を開設しました。さらに平成 24 年 4 月 1 日に「しま第二ホーム」を開設しました。平成 25 年度には「さぎやま・さぎやま第二ホーム」の一部を西部に統合移転し、「新ホーム（定員 6 名）」を開設しました。さらに老朽化した「しま・ホーム」を「いぶき」近隣の物件を購入し移転しました。さらに希望者受入のため「パストラルいぶき第 2 期事業」の議論を今後も推し進めていきます。

平成 26 年度開設した「たーぶる」は今年度もいぶき 2 階の部屋を利用して展開します。

①西部事業部（利用者数は 4 月 1 日現在）

- ・いぶき（ソレイユ・あかね・ファーム 生活介護 20 名） 利用者 19 名
- ・サテライトいぶき（生活介護 20 名） 利用者 18 名
- ・きざはし（ふじ A・B・C 生活介護 20 名） 利用者 20 名
- ・いぶきゆめひろ共同作業所（セリング 就労継続支援 A 型 10 名） 利用者 7 名
- ・ゆめくるん工房（ライラック 生活介護 10 名） 利用者 8 名
（リラ 就労継続支援 A 型 10 名） 利用者 6 名
- ・いぶき（たーぶる 放課後等デイサービス 10 名） 利用者 16 名
- ・しま・ホーム（テラ 共同生活援助 6 名） 利用者 5 名

- ・しま第二ホーム（ソル2 共同生活援助2名） 利用者2名
- ・さぎやま・ホーム（ソル1 共同生活援助4名） 利用者4名
- ・さぎやま第二ホーム（ソル3 共同生活援助6名） 利用者6名
- ・ヘルパーステーションねこのて（居宅介護） 利用者17名

②北部事業部（利用者数は4月1日現在）

- ・第二いぶき1（いろいろ 生活介護20名） 利用者20名
- ・第二いぶき2（にじ・ほっぺ 生活介護20名） 利用者20名
- ・第二いぶきB（こらぼ 生活介護20名） 利用者29名
- ・パストラルいぶきA（なでしこ 共同生活援助6名） 利用者6名
- ・パストラルいぶきB（きずな 共同生活援助7名） 利用者7名
- ・パストラルいぶきC（ひだまり 共同生活援助7名） 利用者7名
- ・パストラルいぶき（短期入所2名） 利用者81名

③相談支援

- ・いぶき（計画相談支援・障害児相談支援） 利用者 計画142名、障害児26名

④通所事業所の開所時間・開所日

西部・・・毎週月～金曜日、土曜日 月1回、9:00～16:00

北部・・・毎週月～金曜日、土曜日 月1回、9:30～15:45

た一ぶる・・・毎週月～金曜日、14:00～18:00

学校休業日、 10:30～17:00

*ただし、国民の休日及び夏季休業（4日）、12月29日～1月3日、春季休業（1日）を除きます。

⑤利用者の主な生産活動

- ・西部事業部・・・かりんとう、招き猫マドレーヌ、お茶、農産物、乾燥野菜・果物、下請作業
 - ・北部事業部・・・ジャム（りすのほっぺ）、草木染ストール（百々染）、紙すき、ポン菓子、仕入商品（めかぶっこなど）
- *これらの製品・商品の一部は、当法人の出張所であるアクティブG内2階「ねこの約束」で販売します。

⑥利用者の主な療育活動

- ・音楽療法・・・西部・北部とも週1～2回実施
 - ・理学療法・・・北部にて月2回
- *生活介護事業では看護師を配置し、利用者の健康管理に努めます。